

# 7. 雑司が谷地域

～江戸時代の歴史を伝えるみどりと多様なみどりがつながるまち～ (仮)



集合住宅の外構の緑



雑司ヶ谷霊園



鬼子母神の天イチョウ



雑司が谷公園



日本女子大学寮の緑



雑司が谷一丁目公園



旧宣教師館の花壇



みどりの拠点	公園 (既存)	主な寺社境内地	都市計画道路 (既存)
みどりの骨格軸	公園 (予定)	天然記念物	都市計画道路 (事業中・計画)
みどりの南北軸	公園 (再整備予定)	花の名所	鉄道 (JR・私鉄)
みどりの軸	まちづくり広場	協定花壇	鉄道 (地下鉄)
連続したみどり	公共施設	中小規模公園活用プロジェクト	鉄道 (都電)
樹林地・草地・裸地	都市公園に準じる施設	河川	

図 みどりのまちづくり方針図 (7. 雑司が谷地域)

## 8. 高田地域



### (1) みどりの現況

区の南部に位置する高田1丁目から3丁目の区域で、「のぞき坂」、「宿坂」、「富士見坂」など名称のついた坂が多くある地域です。また、神田川沿いには遊歩道が整備され、土地利用は、住宅系が高い比率を占めていますが、**新目白通りや学習院下通り、神田川沿いを中心に事務所系・工業系の施設と大規模なマンションが点在して外構のみどりが見られます**。大規模な公園が少なく公園面積率は比較的低いですが、神田川の桜並木や寺社などの緑地が分布し、緑被率は比較的高くなっています。また、比較的大規模な屋上緑化が整備されている**企業施設**が点在しており、屋上緑化率は12地区中2位と高くなっています。

8. 高田地域			
面積	49.4 ha		
人口 (R4.1.1住民基本台帳)	11,757 人		
緑被率 (R元)	7.6 ha	15.5 %	: 12地区の内 4 位
樹木被覆地	6.2 ha	12.5 %	
草地	1.1 ha	2.3 %	
屋上緑化	0.4 ha	0.7 %	
公園面積 (R3.7.1)	5,028.7 m <sup>2</sup>	1.0 %	
みどりの活動 (R3)			
・協定花壇	1 箇所		
・中小規模公園活用プロジェクト	1 箇所		

表 みどりの現況



のぞき坂沿いのマンションのみどり



神田川側道沿いのみどり



南蔵院

## (2) みどりのまちづくりに向けて

### ○みどりのネットワークの形成

- ・みどりの南北軸となる環状5の1号線（明治通り）の街路樹と都電荒川線沿いのみどりの適正な維持管理の継続
- ・環状4号線（不忍通り）の整備に合わせた街路樹整備の要請と、放射7号線（新目白通り）、補助72号線における街路樹の適正な維持管理の継続
- ・神田川や街路樹等を軸とした、隣接する学習院大学、肥後細川庭園、甘泉園公園などをつなぐみどりと水のネットワークの形成と拡大

### ○神田川側道の桜並木の保全・活用

- ・地域と協働した神田川側道の桜並木の維持管理の推進
- ・景観条例での指導・協議等による地域特性に応じた景観づくり

### ○公共公益施設や民有地の緑化推進

- ・各学校での地域と連携するみどりづくり（「みどりの縁むすび」）
- ・開発事業に伴うみどりの条例による敷地内や屋上・壁面の緑化計画の届出制度などを活用したオープンスペースの確保と(仮)みどりのまちかどづくりや緑化を誘導
- ・生物多様性を考慮した公開空地等の質の向上と育成管理の推進
- ・区民ひろばなどにおける区民参加の花壇づくりの維持管理を推進

### ○歴史を伝えるみどりの保全・活用

- ・氷川神社や南蔵院、目白不動金乗院などの寺社のみどりの保全・活用

### ○(仮)パーク・グリーンインフラの推進

- ・区民・事業者・学生などの参加による高田地域の公園の利活用や再整備の取組を推進
- ・高田地域のみどりの見どころを巡る住民おすすめのマップを作成

# 8. 高田地域

～情緒あふれる歴史を感じるみどりと水辺を巡るまち～ (仮)



企業施設の外周緑地



マンションの公開空地



区民ひろは高南第二



協定花壇



神田川側道の桜並木



みどりの南北軸上の花



都電荒川線沿いのみどり



神田川側道の橋詰の桜



高齢者施設のみどり



みどりの拠点	公園 (既存)	主な寺社境内地	都市計画道路 (既存)
みどりの骨格軸	公園 (予定)	天然記念物	都市計画道路 (事業中・計画)
みどりの南北軸	公園 (再整備予定)	花の名所	鉄道 (JR・私鉄)
みどりの軸	まちづくり広場	協定花壇	鉄道 (地下鉄)
連続したみどり	公共施設	中小規模公園活用プロジェクト	鉄道 (都電)
樹林地・草地・裸地	都市公園に準じる施設	河川	

図 みどりのまちづくり方針図 (8. 高田地域)

## 9. 目白地域



### (1) みどりの現況

区の南部に位置する目白1丁目から5丁目、西池袋2丁目の区域で、目白駅周辺では台地と低地による緩やかな地形の変化があります。区を代表する豊かな緑地を有する学習院大学のほか、目白庭園、目白の森などの**豊かなみどり**や**重要文化財の自由学園明日館のみどり**などの**地域資源**が点在しています。また、目白通り、明治通りのイチョウ並木をはじめ、山手通りでは街路樹や植栽等により、みどり豊かな街路空間が形成されています。土地利用は住宅系が大半を占めており、特に目白通りの北側地域は、徳川ビレッジをはじめ敷地規模が大きい戸建て住宅が多く、緑被率の高い住宅地を形成しています。

9. 目白地域			
面積	111.1 ha		
人口 (R4.1.1住民基本台帳)	18,185 人		
緑被率 (R元)	24.9 ha	22.4 %	:12地域の内 2 位
樹木被覆地	23.4 ha	21.1 %	
草地	0.9 ha	0.8 %	
屋上緑化	0.6 ha	0.5 %	
公園面積 (R3.7.1)	11,347.7 m <sup>2</sup>	1.0 %	
みどりの活動 (R3)			
・協定花壇	2 箇所		
・中小規模公園活用プロジェクト	1 箇所		

表 みどりの現況



目白通りの街路樹と目白小学校の壁面緑化



自由学園明日館



徳川ビレッジ

## (2) みどりのまちづくりに向けて

### ○みどりのネットワークの形成

- ・ 補助 73 号線の整備に合わせた街路樹の整備
- ・ 環状 5 の 1 号線（明治通り）、補助 76 号線（目白通り）、補助 171 号線（明治通り）及び補助 172 号線（西池袋通り）における、街路樹の維持管理や沿道の緑化
- ・ 学習院大学のみどり、沿道緑化された目白小学校などをつなぐみどりのネットワークの形成と拡大

### ○学習院大学のみどりの保全

- ・ 生物が行き来できる生息空間のネットワーク形成を考慮した、学習院大学の自然のままのみどりとしての保全
- ・ 目白小学校や千登世橋中学校のビオトープのように、学習院大学のみどりを拡大する緑化の推進

### ○公共公益施設や民有地の緑化推進

- ・ 学習院大学の森や徳川ビレッジ、自由学園明日館などの地域特有のみどり資源の活用
- ・ 低層住宅地におけるみどりの協定や緑化助成制度の活用による緑豊かな住環境の創出

### ○歴史を伝え、拠点となる公園のみどりの保全と維持管理

- ・ 上り屋敷公園のムクノキのような歴史を感じる樹木を保全し、目白庭園や目白の森のような四季折々に自然を感じられるみどりの活用と維持管理の実施

### ○区民参加によるみどりづくり

- ・ 地域と協働した、目白小学校の接道緑化、屋上・壁面緑化、ビオトープの維持管理の実施

### ○(仮)パーク・グリーンインフラの推進

- ・ 区民・事業者・学生などの参加による目白地域の公園の利活用や再整備の取組を推進
- ・ 目白地域のみどりの見どころを巡る住民おすすめのマップを作成